



# 今こそ必要な啓明教育

同窓会会長



渡邊カナコ

金星会員の皆様、如何お過ごしでしょうか。

今年一月発生の阪神・淡路大震災で被災された同窓の方々に心よりお見舞いを申し上げます。大変不幸なことに、卒業生の小橋敬子様(22回生)と喜多晴子様(10回生)、そして在校生一名の方が犠牲になられ悲しみに堪えません。

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

瞬時にして御家族、御親戚、家財や職場を奪われた方達の無念さ、ご心痛は如何ばかりかと推察しますと胸が潰れる思いが致します。同窓会といたしましても、同窓の姉妹の安否、被害状況を把握すべく、各回生のクラス代表幹事に、可能な範囲での消息通知の依頼状を送り、一割強のお返事を頂きました。しかし、現時点(7月5日)では、その全容を知ることとはまだまだ困難で、役員一同憂慮致しております。

私達の母校啓明女学院は、幸いにして校舎の被害が比較的軽微で授業には支障がなかったとの事で何よりと存じます。

しかし、教職員の先生方や在校生の多くの方が被災され、今尚厳しい状況の中で復興に立ち向かっていらっしゃいます。あれから6カ月、全被災地で街と人と心の「復興」が続いています。

No. 7  
発行  
神戸市須磨区横尾9丁目  
5番1号  
TEL 741-1506  
啓明女学院内  
金星会

一方、日本全国を震撼せしめ世界中の注目を集め話題をさらったオウム真理教事件は、無幸の市民を殺戮した松本、地下鉄サリン事件等、空前絶後の恐ろしい犯罪の数々で人心を寒からしめております。又、日米経済の危機、断末魔が叫ばれ、日本の政治も混乱を極めております。今日の世情を推ると、今ほど愛の尊さを信じることの大切さ、相互援助の必要性を痛感する時はありません。

よって今後は、知的教育のみならず豊かな精神教育が愈々重要視され、啓明の建学の精神であるキリスト教主義教育が、人格形成に益々必要であると再認識され求められるでしょう。私達は神の存在とその無限無償の愛を教えられました。

今こそ啓明の卒業生達が、母校で学んだ「真の愛」と「奉仕の心」でもって、その名「金星」の如くあまねく輝き、世の光となって日本そして世界の平和の為に役立つことを心より願っております。

同窓の皆様さらなる御健康と御活躍を祈り、来年開催予定の総会でお逢い出来るのを楽しみにしております。

## ご挨拶

啓明女学院中学校・高等学校校長



黒川行信



「金星」第七号の発行おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

昨年四月から、モース・サイトウ院長の後を受けつぎ、今井鎮雄理事長を補佐して、永い歴史と伝統に輝く啓明女学院の運営と教育に励んでいます。

私の哲学は、生徒を大切にすること、先生方を大切にすること、そして建学の精神を大切に、保護者の方々や地域の信頼を得よう努めることに尽きます。

生徒を大切にすることというのは、決して甘やかすことではありません。一人ひとりの生徒のもっている個性を伸ばし、望ましい自己実現が図れるよう、精一杯の援助をすることだと思っています。すなわち、キリスト教の教えに基づいた、心の優しい、思いやりに満ちた人格と、現代社会において活躍できる、英語をはじめとするすぐれた学力、体力、意志力などを育てることです。

「教育は人なり」と言われるように、これらの教育に当たってくださるのは先生方ですから、先生方を大切にしなければなりません。そのためには、生徒の育成に精魂を傾ける強い使命感と豊かな指導力を養う研修などの充実に努め、働きがいのある学校づくりを進めたいと思っています。

啓明女学院の建学の精神は、キリスト教主義を基盤とする人格の陶冶にあります。多くの人が本学院の精神教育に憧れるような校風を築くとともに、その校風が、保護者や中学校、地域の方々の信頼を得ることができるよう願っています。

これからは、中学校卒業生が年々減少し、私学は厳しい時期を迎えます。この危機を乗り越えるためには、より豊かな特色をもつ、きめ細かい教育の充実が何より必要なことと思います。

この度、第一四回生の山根裕子様が評議員として学院の経営に参画してくださいることになりました。同窓会の皆様におかれましては、なにとぞ後輩のためにも層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願いいたしますとともに、皆様のご健勝と金星会がますますのご発展をお祈り申し上げます。

啓明の、95年度テーマ聖句  
『光の子として生きる』  
(エフェソの信徒への手紙5章8節)



## 「素晴らしい同窓生の皆様、さようなら」

前院長 モース サイトウ



理事、専攻科長として院長として、十一年の長きにわたりお世話になりました。啓明を、昨春退職いたしました。現在の啓明女学院の健闘ぶりを神に感謝しつつ、嬉しい気持ちで去らせていただきます。

院長就任の一九七五年頃は、財政面でも、教職員の待遇面でも、施設面でも、問題が山積していました。私の最初の仕事は、校内の照明費を二倍にする事だったのを覚えております。

当時は九三六坪の土地に千五百坪の建物床面積でしたが、今では一万三千三百坪の土地と以前の三倍の床面積があります。生徒数はさほど変わっておりませんが、数の面ではなく、教育の質が高まってきたと言えます。

## 総会延期のお知らせ

本年は従来通りなら、金星会総会を開催する年に当たります。しかし一月十七日のあの未曾有の大震災が神戸をすっきり変えてしまいました。金星会会員の中には不幸にもお亡くなりになった方や、また家が全焼したり、全半壊するなど何らかの被害を受けた方々がたくさんおられます。同窓会としても、なかなか会員の皆様の安否の確認が出来ませんでした。この様な困難の中で、総会を開くことは、会場の確保も難しく、一時的に避難されている方のご住所の調査も捗らず、役員会で討議の結果、今年の総会開催を諦め、来年開催することに決定致しました。

ご了承下さい。総会開催が決まり次第ご案内申し上げます。その折には是非、皆様お誘い合わせの上ご参加下さいませ。様お待ちしています。

## 啓明女学院学院祭

日時・9月22日(金) 10:30  
場所・啓明女学院

同窓会はケーキと紅茶の喫茶店を開いています。(3階)  
ぜひ同窓会のお店に来て下さい。

尚、当日、同窓生の出店を募集しています。衣料品、アクセサリ等、出店を御希望の方は、九月十三日迄に、左記へ御連絡下さい。

渡辺(〇七八)二四一一〇八九  
高瀬(〇七八)七四一一七六七〇





母校ニュース

阪神大震災被害状況とその対応

教頭 山崎 陳人

一月十七日未明、兵庫県南部に発生した大地震は、神戸市に甚大な被害をもたらした。幸いにも、本学院は一九八三年に新しい建築基準によって建てられた校舎に移転していたため、校舎・校地とも被害は極めて軽微で、学校運営には全く支障をきたさない程度であった。しかし、生徒・教職員には多数の被災者があり、併せて、生活環境の破壊、交通機関の麻痺による登校不能生徒の対応には苦慮した。

一日には全校生の安否確認を終わらせ、避難所などに避難中の生徒に対し援助物資の配布と激励のため、教職員が手分けし市内避難所の訪問を繰り返した。学校が再開できたのは二月一日であったが登校不能者が多く、二十日から通学バス二系統を運行し通学の便を計り、正常な授業の実施にこぎ着けた。三学期は震災による学習の遅れを取り戻すため、終業式を二十九日まで延ばし、生徒・教職員ともども学力の回復に努めた。

一月十七日、地震発生と同時に交通機関は全面途絶、電話不通の状況となったが、校長始め多くの教職員が徒歩で出勤し、直ちに生徒・職員の安否確認に当たった。電話線被災のため不通が多く、困難を極めたが、二十一日までに全職員の無事を確認され、生徒の八十%の安否確認ができた。この時点で高校一年生の寺田寛子さんの死亡が確認されたことは痛恨の極みであった。三月二十二日にはじめやかに全校追悼式をとり行い寺田寛子さんの冥福を祈った。

今回の震災に当たっては、キリスト教学校教育同盟加盟の各学校始め多くの団体や、同窓生の方々から心暖まる励まし言葉や、救援の金品を戴いたことを深く感謝致します。



林貞子先生 "県教育功労賞" 受賞される!

一九九五年の兵庫県功労者が過日決定され、母校の林貞子先生が教育功労賞を受賞されました。表彰式は五月十五日に中央区の県公館で行われ、啓明女学院にとっては開校以来の事で大変おめでたい、嬉しいニュースでありました。林先生には同窓生一同、心からお祝いを申し上げます。

林先生は、皆さん御存じのように校内に於いては長年に亘り、母校の英語教育や進路指導、生徒指導等に尽くされてこられた。又、校外では、県私立中高校連合会英語研究会幹事長を一八年間勤められ、私学の英語教育の発展にも貢献されました。その他数多くの御功績が認められ、この度めでたく受賞されました。



運動部の活動について

運動部部長 齊藤唯元

この度の阪神大震災により被災された同窓生の皆様によりお見舞い申し上げます。さて、最近の運動部の活動状況についてご報告させていただきます。震災の影響で練習がままならない状態の中、各部門も頑張っています。サッカー部は、昨年、一昨年に続き全国大会の決勝進出。惜しくも優勝は逃しましたが、選手達は本当に良く頑張りました。後輩がその夢に向かい、練習に励んでおります。5月に広島で開催された西日本大会では、みごと優勝の栄冠を手に入れました。慈仁会体育・スポーツ振興財団の平成5年度「頭功賞」、神戸市青少年問題協議会の平成6年度「こうべニュース賞」を受賞しました。また、体操競技部は昨年に続き、県総合体育大会に出場権を獲得し、県中



サッカー部試合風景

学校総合体育大会の、新体操部門で個人総合第4位に入賞しました。陸上競技部は県ジュニア大会の走幅跳6位、県リレーカーニバル大会の走幅跳5位に入賞しています。ソフトテニス部は県大会、440メートルベスト16、今年度の県総合体育大会出場権獲得(306チーム中24組出場)と頑張っております。バスケットボール部は、県民大会出場権を獲得するなど、力をつけてきています。卓球部は、今年度、県高校総体出場権獲得。また、他のクラブにおきましても市内大会などで多くの輝かしい成績を残しております。卒業生の皆様が築いてこられた啓明運動部の伝統を受け継ぎ、先輩達に、追いつき追い越せを目標に各部門とも練習に励んでおりますので、ご支援のほどお願いいたします。

文化部の活動について

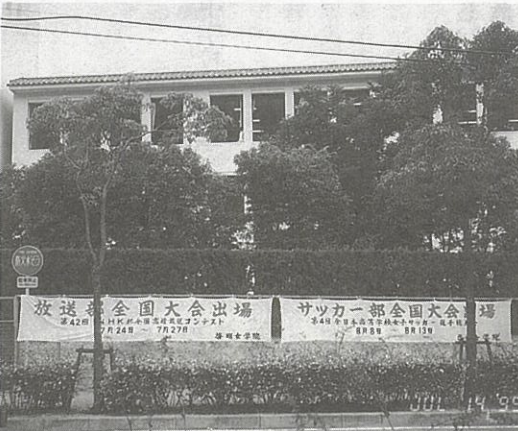
文化部部長 指宿 力

本校文化部は、現在23部で日々の活動に励んでいる。近年目覚ましい活躍を誇る文化部の中でも、特に放送部は四年連続で「テレビ・ラジオ・朗読」の三部門で全国大会に出場、クオリティの高い作品で高い評価を受けている。又、ブラスバンド部も神戸地区大会で銀賞を獲得するなど実力をめきめき上げており、今後の活躍が期待される。一時は部員減少の憂い、その存続さえ危ぶまれた部員だが、部員獲得の努力の結果部員数も年々増え、その伝統を守っている。

他にも積極的に外部へのボランティア活動に励んでいるYWCA部、毎年素晴らしい作品集を出版し続けている文芸部、コンスタントにコンクールに出場し、個人賞を獲得するなど評価を受けている演劇部等、地味ながら着実に活動しているクラブも多い。



文化祭模擬店風景



進路状況の報告

進路指導部長 林 貞子

【就職】

本校における就職状況はバブル崩壊後、円高不況などで厳しく昨年度は一次試験で三六・四%が不合格となったが、生徒各自と教師の努力のおかげで最終合格率九七%の成績を上げることができました。幸いにも、阪神大震災の影響での就職内定取り消しは一名にとどまったが、その生徒には厳しい十八歳の試験となったことに心痛むところです。本年度の就職状況は震災の影響で更に一層厳しいものがあり、この会を通して同窓会の皆様に若い後輩のために職場があればお知らせいただければ幸甚に存じます。

【進学】

現在は十八歳人口の減少期にあるので、ピーク時に比べて入試状況が若干変わってきました。95年度入試は、推薦定員が総定員の30%以内という項目が推薦入試に大きな波紋を投げ、一般入試では阪神大震災の影響でかなり混乱した状態で行われました。左に最近三年間の進路状況を報告します。尚、専門学校分野では高看に十二名、試の選考方法の多様化、受験機会の多様化などめまぐるしく変化の中で、我々教師もあらゆる情報を取り入れ、生徒一人一人の個性や興味・関心を生かした指導を目指していくつもりです。

最近3年間の進路状況 (3年間の合計数・現役のみ)

Table with columns for University (大学) and Short-term (短大) and rows for various institutions like 北海道大学, 京都教育, etc.



### おなつかしい先生方より一言

(アイウエオ順 敬称略)

社会科 伊賀和朗

阪神・淡路大震災より5か月が経過しましたが、卒業生の皆様のご様子はいかがですか。被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

私の方は家屋・家財に多少の被害がでたものの、家族は犬も含めて無事です。

さて、震災後、ささやかながら救済活動にかかわるなかで強くひかれた聖句があります。それは、ペトロの手紙一の1章24節の「人は皆、草のようで、その華やかさはすべて、草の花のようだ。草は枯れ、花は散る。しかし、主の言葉は永遠に変わることがない。」という言葉です。

今回の震災で私たちは目に見えるものをたくさん失いましたが、被災された方々相互の、また、神戸にはまったく無縁の方々の活動を目の当たりにして、人の心までは壊されなかったとうれしく思いました。この多くの人々の願いと実践により一日も早く神戸の復興が実現することを祈るとともに、特に夏休み中には、私自身も復興へ向けての取り組みに参加しようと考えて、今日このごろです。

国語科 上野 馨

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。本年はニュースに事欠かない、それも暗く物騒な出来事ばかりで減入りですが、とりわけ震災の影響はいかばかりかと案じております。何事につけ、日頃の備えに怠りがないよう肝に銘じられる昨今です。

さて、四月から就職係として藤川先生に同行させていただき、卒業生の就職先各企業を訪問しております。啓明在学中とは比べものにならないほど成長して、板についた社員振りを目の当たりにし、うれしく思うことしきりです。三宮・元町界隈では、ビル解体協の埃っぽい中で、「センセイ!!」と声を掛けられ、とっさに、いつのたれであったか思い出せず、失礼した場面もありました。いずれも発刺と輝いた眼差しで、こちらが圧倒されるほどのまぶしさを感じました。週一

回、一学期間に訪問できる企業数は知れていますが、他の卒業生にも、またどこかでいつかお会いできるものと期待しております。

不況・震災・円高のトリプルパンチの神戸ですが、卒業生の皆様の各方面でのご活躍とご健康をお祈りいたします。

理科 金谷 一郎

啓明に勤め今年で十年目になるとうなっています。月日がたつのは早いと改めて感じています。私は、西宮に住んでいますが、地震により道路事情が悪い為に電車で通勤しています。地震後、通勤の途中で、何人かの卒業生の方に出会い「啓明は無事で良かったですね。」なかに「車で校舎を見に行きました。」先生方は御無事ですか。など気に掛けて頂き職員一人一人として有難く思っています。

今年も生徒会の顧問をしています。生徒会の行事である文化祭は九月二十一日、二十二日に行われる予定です。二十二日が一般の日になっていますので、金星会の皆様の御来校をお待ちしております。



英語科 斉藤利枝

一九八九年春に初めての卒業生を送り出してから、六年が経ちました。その後はずっと中学部におりますので、高校生と接する機会が減りました。しかしエネルギッシュな中学生と楽しい毎日を送っています。

卒業生からは、そろそろご結婚やご出産の報告も頂き、嬉しいながら、歳月の流れの速さに驚いています。なかにはお勤めの方、事業を始めて頑張っている方、それぞれの方野で一番充実してきた年齢でしょう。どうぞお体を大切に活躍ください。心から応援しています。

一月の震災時に、避難所でボランティアをしていた卒業生に出会い、素晴らしい成長ぶりに感激しました。懐かしい皆さんにぜひお会いしたいです。どうぞ近況をお知らせください。

家庭科 西垣 迪世

卒業生の皆さん、お元気ですか。その後如何お暮らしてでしょうか。学校にきてその後の様子を話して下さったり町でばったり会えて話しこんだりお手紙を下さったり、消息を伺っている方はお元気の様ですが、他の方達はどうかしらさいますか。先日は電車の中で声をかけて下さったのがなつかしいTさん、今は就職しているとの事、お元気そうでした。

友人のNさんは保母をしばらくして今は又別の資格を取る為専門学校へ入っているとの事。子どもの世話も楽しかったり職場の人間関係が大変だったようです。新しい気持ちでやり直している彼女を応援したいと思えます。又、久しぶりに訪ねてきてくれた銀行勤めの二人、私が心配していた仕事よりも人間関係がねと話聞かせてくれ、でも頑張るわと帰っていきました。はや啓明に来て九年目、沢山のおじょうさん達とおつきあひしてきてました。保育選択の生徒が、「女性に生まれてよかった。女性には自分の命だけ守るのではない。人間として女性として輝きたい」と授業の感想を書いてくれました。震災もあり大変だったと思えますがくじけないでおおらかに生きて下さい。

保健養護科 原 滋子

今年、年明けから本場に種々ありましたね。その上雨が多く仕事を持っていた主婦にはゆううつな日曜が続きました。皆さんは、仕事と家庭、また学生と両立させながら多方面でご活躍中のことと思えます。そして卒業と同時に自動車の免許を取られる方が多いのですがどうぞ健康に今一度目を向けて下さい。

骨のカルシウムは、二十代迄に作られあとは保つのに精一杯となります。その時、カルシウムの貯金を沢山にしておかないと老化が早くなります。太陽の光を浴びながら、力強く歩くこと、これが健康を作る大ひけつです。災害にあっても健康であれば立ち直りも早くスムーズに行けるのではないのでしょうか。もう一つ、皆さん、ぐちを聞いてくれる人、聞いてあげる人いますか。つまらないおしゃべり、時間の浪費と思わないで、ストレス解消にと役立っているのですから。思いがけない所で(多くは買物中)卒

社会科 松永 力

いま何処に任んでおられるかわかりませんが、皆さん、お元気でしょうか。昔と外見が徐々に変わりつつある私ですが、時々、一日の終わりに目を閉じて自分を振り返ることがあります。思いやりや感謝の気持ちが大切だと知っているはずなのに、ところが何と自分勝手な誠実な自分であったかと気づくのです。

キリスト教主義学校を卒業したからと言って難しく生きることはないのかも知れませんが、自分の周りの人に対して思いやりや感謝の気持ちを忘れずに接していく。家庭や職場やそれぞれの地域で、周りの人に愛されながら元気に活躍されるのが皆さんの恩恵にとって一番嬉しいことではないでしょうか。十数年しか勤めていませんが、私はそのように思っています。その間、垂水区から須磨区そして西区へと住所が変わった私ですが、車が苦手なことは変わらないままで現在は西神中央付近から自転車通勤しています。

皆さんが何処に住んでおられるかわかりませんが、車から自転車に乗っている人を見かけられることもあることではないでしょうか。ひよっとしたらその人は私かもしれないよ。卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今、幸福の絶頂にある人、また困難な中にある人など各人が置かれている状況は様々であることと思えます。よく在校生からは数学は卒業してから役に立つのか、また使うのかと尋ねられます。直接、数学をそのままの形で使う人はごく限られていると思えます。直接使うというよりも数学の持つ論理性や合理性が、その人の身につけていけば、どのような状況にあっても、根拠のない気分的な判断ではなく、冷静な合理的な判断・行動に結び付いていくと思えます。幸福な中にある時は、いつまでもそれが

続くように人は思うものですが、よく考えれば、その根拠はありません。幸福な時、今、何をしておく必要があるのかを合理的に考え、また困難な状況にある時は、いかにすればその状況を打破できるのかを合理的に考える力を養ってくれるのも、また、数学の持つ側面であると思えます。

卒業して何も覚えていなくても、学生時代に学んだことは、一生涯に亘り、その人の人格の中に花を添えてくれるものと思えます。皆さんの御活躍をお祈り致します。

### 金星会名簿は私の宝

商業科 山本真規子

二年前に改定された卒業生名簿を頂いた。私にとっては是は単なる住所録ではない。宝であり、生きてきた自分の証でもある。そこには一人一人の生徒との対話があり、私を泣かせたり笑わせたり、愛らしい姿のままの物語が生きている。時には思いがけぬ年増姿になった彼女達に出会った時はドキッとする。その大事な住所録に、逝去の二文字を見た時は、心臓を揺られるような激痛が走る。この地震でも二人の息子が立派に成長し、幸福の最中の小橋敬子が亡くなった。今は最後となった彼女の年賀状を飾って冥福を祈っている。風光明媚なこの穏やかな神戸が、まさかこのような大地震に襲われるとは信じられない。みな周囲にも悲しいこともあったであろう。だが頑張っしてほしい。この次の名簿では住居移動も多いかも知れないが、それぞれ元気で幸せであるよう祈っている。啓明に奉職して四十年、気は若いので年齢は言わない。現在は講師でも何もないが、生徒の将来の為に私なりのベストを尽くしてきた。今は静かに祈りたい。啓明女学院が真の愛を教えるキリスト教主義の立派な学校として永遠にあることを。教えを受けた生徒達は必ず社会の光となるであろう。

数学科 吉田 篤生

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。この度の阪神大震災において被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。幸いにも啓明の校舎設備に関しては殆ど被害もなく、平常通り授業を行う

### 市政で活躍の同窓生

七回生・河上せつ子(旧姓吉村)さんは、芦屋市議員(総務常任委員会委員長)として三期目を勤め震災復興に向かっ

て御活躍中です。市民の為、市の為、国の為に、充分働いて下さることを期待しております。

### 住所移転通知のお願い

今年一月の大震災による、同窓生の皆様の安否、被災状況を調査し、住所移転を余儀なくされた会員の皆様の新住所を把握すべく、全回生の各クラスの代表幹事(三三六名)に、可能な範囲での同窓生の安否、新住所通知の依頼状を五月二十日に発送致しました。その結果、二九通が転居先不明で差し戻し、約一三%の四二名の方からお返事を頂きました。二五五名の方からは現時点(七月七日)でお返事がありません。金星会名簿を修正致しますので、貴方自身、或いは友人知人の新住所を啓明女学院内金星会宛至急お知らせ下さいませ。又、今後も住所変更なされた場合は、迅速に金星会迄ハガキ又は電話で御通知下さるようお願い申し上げます。

### 「同窓生便り」及び「クラス便り」募集

近況、御意見等お知らせ下さい。次回「金星」に掲載させていただきます。住所記、氏名(旧姓)、回生明記の上、啓明女学院内金星会宛ハガキにて、切

同窓会報の題字「金星」は、第四回卒業生、中村(旧姓元林)倭文子氏による。



### 退職された 先生方からのお便り

(敬称略)

啓明でのこと

島 久子

私の教師生活は啓明女学院から始まりました。呑気に教師でもしようかと、典型的なデモ教師だったのである。プロテストとカトリックの二つの学校を通して、生涯の仕事になろうとは思わなかった。

若さの気負いから、生徒と教師は向き合ってばかりではいけない、教師も黒板に向かって生徒と同じ方向を見ないと、これではいけないこのままではいけない、もっと勉強しなければ、と急ぎ立てられるような気持ちがありました。この頃、学校生活の中にどっぷりつかってしまっていたのではない、一歩か半歩いつも外に足を踏み出さないと、とかいってたことが三十代半ばぐらいまで続いていたようだ。

あんまり教師教師していない目で見ると、まわりは新鮮そのものだった。その頃、懐かしい。教師の目で見ていたのではない。ちょっと年上の友だちの感覚だ。それが今なお続く縁となつて、震災見舞いや引越し手伝いや旅行などの形で現実化している。読書会もその一つだ。

卒業生との縁は時に宝物のように輝く。いつまでも大切にしたいと思うばかりである。

啓明女学院を去って

宮下良治

私は今年三月をもって啓明を退職し、四月より武庫川女子大学附属中・高に勤務しています。啓明の事、自分の事と色々考え悩んだ末の一大決心でした。

現在は高校二年生の担任として頑張っています。同じ学校という所でありながら、かなり考え方ややり方が違うので四月当初は本当にやっていたら不安な毎日でした。しかし、まわりの先生方に助けをいただいたり、人なつこい生徒達に励まされたりしてやっとなんとか慣れて来ました。

離れてみると、啓明のよい点・悪い点

が客観的にみえて来ます。自分自身の教師という仕事に対する考え方も変わって来たように思います。啓明での十二年間も反省する点ばかりのような気がします。今は、わがままな私がやりたい事を比較的自由にやらせてもらった啓明と生徒達に感謝しています。多くの思い出を与えてくれて本当にありがとうございます。またどこかで見かけたら声をかけて下さい。皆さんお元気で活躍下さい。

西崎良夫

糖尿病で両下肢、下腿切断して早や二年過ぎましたが、お陰様で不自由ながら、元気に過ごして居ります。

その節、皆様方から御心配やら、激励のお言葉、お見舞を頂きまして心から感謝申し上げて居ります。

毎日お忙しいことは存じますが、簡単なお便り、若しくはお電話で一言お声を聞かせて頂けたらと心待ちに致して居ります。

### クラス会だより

8回生 野田重子

金星会の皆様、今回の阪神大震災は如何でしたか、お伺い致します。

八回生のクラス会は引き受けて下さった幹事の都合で毎年だつたり、五年も開かれなかったりと、気儘に開いて居ります。昨年(94年5月14・15日)金沢に一泊旅行をすることになり金沢在住の村中さんの幹事のもとに開き、十二名の方々と行ってきました。

学生時代に帰った様に心浮き浮き、朝早く集合にもかかわらず一時間以上も早く来られた方もあり、久しぶりにお会いした方々と話に花が咲いて、長旅もあつたと言間に金沢に着きました。

小雨の中、村中さんの案内で尾山神社武家屋敷、加賀友禅工房、兼六園と見て回り、夕食を楽しく戴き、二部屋に別れてやすみました。(今までの事これからの人生について語り合いつつ何時の間にか真夜中になっていた)翌朝も小雨の中、江戸村を見学し、昼食は金沢名物お越料理を戴き次回の幹事を松浦さんにおねがいしました。

お天気は小雨が降ったり、止んだりで傘のお世話になりましたが十二名共元気で旅行することが出来て、神様に、快く出して下さった家族の方々に感謝しつつ帰路に着きました。



8回生 クラス会

36回生 吉村尚子

昨年の春、橋本さん(旧姓上野)が学校を訪ねた時、「10年という区切りの年に同窓会を開いてみては」ということになり、各クラス一名の代表者を決めて動き出しました。しかし私が不慣れであったために林先生、国宝先生他、多数の先生方にご迷惑をかけ、どうにか昨年八月二十日に会をもつことができました。

テレビの買物情報等でおなじみの能崎まゆみさん(私達の生徒会長)というプロの司会です。先生方八名、生徒四十七名、子供九名の計六十四名の出席者。顔を合わせた途端まるで高校時代に戻ったかのように話が弾みました。先生方はまるで若さを保つ秘薬をお持ちであるかのように、昔と少しも変わっておられず、仲間は子育てに頑張っている人、仕事を打ち込んでいる人などそれぞれの生活を精一杯送っている様子。数年後の再会が楽しみになった会でした。



36回生 クラス会  
先生方と共に  
福中 国宝 田村 林 岩宮 杉岡 岡本 中出

### OGだより・地震体験

3回生 高田文子

讚美歌四〇五番「また逢う日まで」を歌いながら、涙々で卒業式を終えチャペルを出ましたから早いもので、44年、あの山手通りにあった母校も今は無く、体育の授業で通った武徳殿の木々が本当に大きくなりました。諏訪山の金星台から眺めた素晴らしい神戸の街並、映画のロケにも数多く使われました。でも一月十七日五時四十六分、あの数秒の地震で街の姿を変えてしまいました。こんな惨事今世紀最後であつてほしいと願ったのは私一人ではなかったと思います。唯茫然と倒壊した家の前に立ちすくんでいる人、うめき声の聞こえる中を人命救助に奮闘する御近所の御主人「生き埋めの救助が先や!! 消火活動は出来ん」と消防団員のどなる声、あてもなく毛布を頭からかぶって家の前を北に北に歩いて行く人々、まさに民族の移動ってこんな状況をいうのだらうと助かった我が家の前で、私自身娘達家族、孫達の無事を確認しました。数日後「目の上のお怪我大丈夫ですか」と皇后陛下のお優しいお声に胸を熱くし、頑張ろうと決意を新たにしました。

### 栄光教会と私

6回生 佐藤陽子

「栄光教会の十字架の塔が、山手幹線を塞ぐ形で倒壊した」というニュースを耳にしたのは、地震の翌日であった。あの激しい揺れの中で、我が家のことより教会の安全を気にかけて過した一日であった。70年前に建てられた美しい煉瓦造りの会堂は、ここ数年建物の外壁にひび割れが生じ、老朽化は進んでいた。しかしあの激しい戦争をくぐり抜けて建ち続けた会堂が、思いがけない地震によって一瞬にして倒壊したことは、信じ難いことであり、無残な姿を見るに忍び難いことであった。私は、この教会で44年前に斎藤宗治牧師より洗礼を受け、爾来半世紀に亘って栄光教会と共に歩んだ人生であった。そのきっかけは、啓明女学院入学し、聖書に触れやがて教会へと導かれたのであった。当時の宣教師の方々と、特にミス・ドライパーは、熱心に教会に

誘ってくださった。宮崎明治牧師に導かれた青年時代は、人生のいろいろな悩みや挫折を経験し、キリスト信仰を形成する大切な時期となった。やがて結婚し、婦人会に属し、信仰と奉仕と交わりに生きる充実した時期であった。一人の娘も、教会学校にお世話になり、各々、若き日に造り主を覚えて受洗し、教会員となった。教会にとっても大きな喜びであった。昨年11月次女が、現牧師北村宗治先生の司式により、結婚式を挙げさせていただいた。その二ヶ月後に教会が倒壊しようとはだれが想像したであろうか。震災から六ヶ月たち教会の跡地にテント張りの仮設礼拝堂が設営され、礼拝が守られていた。私たちは今、北村牧師を中心に会堂再建に向けて、被災した多くの会員と共に祈りを一つにしている。栄光教会とゆかりの深い同窓の方々も、これを覚えて篤い祈りと励ましをいただきたい。

35回生 四方叔子

北区内に転居しました。北区は被害はさほどではありませんが、勤務している社会保険神戸中央病院では地獄の様でした。(看護婦をしています)次々と南より運ばれる患者：言葉にはなりません。自宅は一部損壊です。主人と子ども三人に布団をかけるのが一杯でした。

38回生 吉田有美(旧姓串畑)

金星会役員の方々の中でも被災された方もいらっしゃる事と思います。心よりお見舞い申し上げます。地震当日、私は会社の寮に入っており高砂でしたので、神戸ほど恐ろしい思いはしていませんでした。実家の方も家族は皆無事でした。長田や須磨、兵庫、の友達が心配で、電話をかけたまわり、連絡がとれた時は涙が止まりませんでした。この時、今まで以上に友達の大切さを知りました。私は結婚式を控えていたことが、ホテルからキャンセルが入り、結婚式の予定日に入籍を済ませ旅行に行き、六月十七日に式を挙げました。七月二十九日に披露宴を予定しております。

45回生 小村泰子

前略 卒業して早いものでもう二年の月日が流れていきました。「一月十七日午前五時四十六分、兵庫県淡路島を中心とする地震が発生しました」という声を何度聞いたことだろう。まだテレビもつかなくてラジオに耳を傾けながら、生まれてこの二十二年間、こんなに恐ろしい経験をしなかった私に、突然襲いかかった大地震でした。(会員の皆様は大丈夫でしたか?)電気・水道・ガスが急にストップし、家の門柱や石垣は崩壊しました。しかし、長田区から東の方へと進むにつれてこの被害は増えていきまして。やがて、電気がつくようになり、テレビをつける悲惨な情景を目の当たりにしました。時は流れて、水道・ガスが普及されていき、当たり前に過ごしていた今までのことが、いかに重要なことだったのかということが痛感させられました。

啓明で学んだ、共に生きる、ということとを心の糧として、復興に向けて頑張っている神戸の人々のような大人になりたいと思っております。そして啓明の発展をますます願うと共に、阪神・淡路大震災で被災された会員の皆様にも心よりお見舞い申し上げます。

46回生 鄭 由貴

啓明女学院を卒業してから早くも一年以上が過ぎましたが、今では大学生らしくなつたのではないかと思います。神戸外大では国際関係を専攻しています。二回生になってからは、国際政治史や国際法、国際関係論など、本格的に専攻の授業が始まりました。授業内で発表などもあり、下調べや予習などがずいぶん大変になりました。けれど、それだけやりがいもあり楽しいです。

夏休みには、シンガポールと中国へ行く予定です。金銭的には大変ですが、あの地震以来、自分の価値観が変わりました。今では、何事もできる時に、時間を無駄にしないよう心がけています。ですから、せつかくの長期休暇では、普段できないことをしたいですし、これからは、いろいろな物事にチャレンジしようと思っております。